



# 諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校  
3月号  
平成25年度第16号  
(平成22年度指定)

☆☆ 2学年SSHコースと科学系クラブ部員28名、  
アラスカへ向けて旅立ちました ☆☆

アラスカ大学フェアバンクス校(UAF)国際北極圏研究センター(IARC)での研修、

オーロラ観測、極地課題研究、ボーイング社での研修(3月3日～8日)

3月3日(月)朝、2学年SSHコース及び科学系クラブ部員合計28名が3名の職員に引率されて、「海外科学セミナー(アラスカ研修)」に向けて上諏訪駅を出発しました。

7時30分上諏訪駅から出発

当日は、14時50分成田を発ち、途中米国ワシントン州シアトルを経由してアラスカ州フェアバンクスを目指します。シアトルでのボーイング社航空博物館研修を経て、日本時間の3月4日10時25分(現地時間3月3日16時25分、時差がマイナス18時間あります)にフェアバンクスに到着の予定です。



当日は直ちにオーロラ観測、極地課題研究を実施する予定です。翌日からはアラスカ大学での講義や実習を受講する予定です。

アラスカ大学では、オーロラ研究の分野で世界的権威である赤祖父俊一名誉教授のサポートを得て、赤祖父先生はもちろん、IARCや地球物理学部(Geophysical Institute at the University of Alaska Fairbanks)の先生方に実習や講義をしていただきます。



成田 いよいよ出国です

赤祖父先生によれば、昨年度の先輩の様子(積極的に質問した)や講義に対する感想をもとに、先生方がさらに工夫をされて講義を準備されておられるとのこと。生徒諸君も先生方の研究分野について事前学習して講義に臨む予定です。

アラスカ大学フェアバンクス校アラスカ大学国際北極圏研究センター(IARC: International Arctic Research Center)での研修・講義の日程は以下の通りです。3月4日の放課後、生徒が1年間取り組んだ「課題研究」を英語でアラスカ大学の先生方や学生の前でプレゼンテーションさせていただく予定です(※5)。

	3月4日(The)	3月5日(Wed) ※4	3月6日(Thu)
13:00-14:00	Ned Rozell 先生 Akasofu 先生 「Arctic (北極圏)」	Andrew Mahoney 先生 「Arctic Ocean and Sea Ice(北極海と氷)」	Fran Maver 先生 Akasofu 先生 「Moose(ヘラジカ)」
14:00-15:00	Uladimir Alexeev 先生 「Arctic Ocean (北極海)」 Akasofu 先生 ※1	Richard Collins 先生 と彼の students staff による「DRONES (無人飛行機) 実習」 ※2	Robert Herrick 先生 Akasofu 先生 「Planets (太陽系と惑星)」
15:00-17:00 ※5	Elena Sparrow 先生 Akasofu 先生 「Experiments (実験)」	Akasofu 先生 「Aurora」	IARC staff ※3 Akasofu 先生 「Satellite-tracking」

※1 北極海航海の実際についての講義 ※2 無人飛行機の実物見学 ※3 人工衛星受信の実習

※4 この日にはアラスカ大学博物館(アラスカ最大の博物館の一つ)での研修を午前中に予定